

## A 1 1 製造分野におけるDX推進

### 【概要】

生産現場で用いられる各種製造装置や製造工程の監視・制御にICTやIoTなどのデジタル化を組み込むことにより、製品やサービス、ビジネスモデルの改革（DX）を推進して、生産性向上、ビジネス競争力を獲得する方法を理解する。

会場：独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構 愛知支部 中部職業能力開発促進センター  
（ポリテクセンター中部）（小牧市下末1636-2）

講師：加藤 栄作（株式会社東京ナレッジプラン）

### カリキュラム

|                           |   |
|---------------------------|---|
| ■ 製造業におけるDXの理解<br>《1.5h》  | <u>DXとは</u><br>DXとはなにか、デジタイゼーション、デジタルライゼーションとの違いやDXの本質とはなにかを理解する。   |
|                           | <u>製造業におけるDXへの取り組み</u><br>製造業において、DX実現に向けて世の中に出ているIT技術と導入において何から始めるべきかを考える。   |
|                           | <u>製造分野DXの目指す姿</u><br>製造分野DXの目指す姿（スマートファクトリ、スマートプロダクト）について理解する。   |
| ■ DX実現事例<br>《1.5h》        | <u>DX化取り組み事例</u><br>DX化に取り組んでいる事例から、実現するための具体的な取り組みを考える。  |
|                           | <u>データ収集・連携・活用方法</u><br>DXを成功させるために必要な、正しいデータの収集、分析、活用のための取り組み。   |
|                           | <u>自社にあったDXを考える</u><br>他人（他社）のDXはそのままは使えない、自社にあったDXとはなにかを考えないと意味がない。  |
| ■ DX推進の目標設定と解決策<br>《1.5h》 | <u>現状把握とありたい姿を描く</u><br>DXを考えるとき、まずは現状把握することと、「ありたい姿」を描き共有することの重要性を理解する。  |
|                           | <u>DX化目標の設定</u><br>「ありたい姿」に向けて、具体的なDX化目標を設定し、共有する。  |
|                           | <u>DX化への変革シナリオ</u><br>「ありたい姿」のDX化目標に向けて、具体的な業務変革シナリオを描き、解決策を検討する。   |
| ■ DX推進の計画と実行<br>《1.5h》    | <u>社内推進組織の構築と連携</u><br>DX推進のためには、トップ直轄の関連全部門参加での社内プロジェクト体制を構築し、進める必要がある。  |
|                           | <u>見える化とデータ活用</u><br>正しいデータの収集とその見える化を行うことで共有化することと、データを活用した取り組み。   |
|                           | <u>DX人材の育成・確保</u><br>社にDXを進めるにあたって、どのような人材が必要であるか、またその育成方法を考える。   |
| ■ 演習（上記訓練に含む）             | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自社現状のDX進捗状況の把握</li> <li>・ 自社のDXの目指す姿はなにか（DX化目標）</li> <li>・ 自社の「あるべき姿」からDX化を設計する。</li> <li>・ DX人材の育成計画</li> </ul> |